

鹿児島大学 教職大学院

鹿児島大学大学院教育学研究科 学校教育実践高度化専攻

教職大学院は、高度専門職業人としての教員の養成を目的とした専門職大学院です。指導力・展開力を備え、様々な教育課題に取り組む新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員や、確かな教育理論と優れた実践力・応用力を備え、地域や家庭と連携しつつ学校において指導的役割を果たしうるスクールリーダーとしての中核的教員の養成を目指しています。



鹿児島大学教職大学院で学ぶと…

- ① 教職修士の学位を取ることができ、専修免許状が取得できます。
- ② 修了生支援事業を活用して、大学院修了後も学び続けることができ、修了生在籍校の職員研修等も大学教員がサポートします。
- ③ 3年間に在籍し単位を取得（小学校教員免許取得プログラムを利用）すれば小学校の教員免許を取得できます。
- ④ 鹿児島県の教員採用試験の推薦制度を利用することができます。
- ⑤ 一定の条件の下、奨学金の返還免除制度を利用することができます。

日本学生支援機構
教員になった者に対する奨学金の
返還免除制度（教員免除）



鹿児島大学教職大学院の特徴

教科の指導法、生徒指導・教育相談、学級経営・研修企画、特別支援教育などの能力を向上させることで、**今よりも自信を持って教壇に立ち、活躍できるよう**、研究者教員と実務家教員(学校現場や教育行政の経験者)とが協働して授業を担当し、大学が学校現場と連携して指導・支援していきます。

- 現職教員学生と学部卒学生が**共に学ぶ1コース制**
- 関心や探究課題に応じて履修できる**3つの選択科目プログラム**
- 共通科目5領域すべてに**ユニバーサルデザインの視点**
- 学校現場について深く学ぶために鹿児島県内の**様々な学校や関係機関で行う実習科目**
- 実習における学生自身の探究や省察を通しての**実践研究**(2年間の総まとめとしての**研究成果報告書**の作成)
- 3年間在籍して小学校教員免許状を取得する**小学校教員免許取得プログラム**

▶ 教職大学院の学びのイメージ



▶ 履修モデル

年次	1年次				2年次			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
共通科目	共通科目		共通科目					
	共通科目	共通科目	共通科目	共通科目				
	共通科目(集中講義)							
実習科目	高度化実践実習Ⅰ		重点領域実践実習Ⅰ	重点領域実践実習Ⅱ	高度化実践実習Ⅱ			
			開発実践実習Ⅰ		開発実践実習Ⅱ			
省察	研究成果報告書作成に関わる探究(教職課題研究Ⅰ・Ⅱ)							
選択科目	選択科目		選択科目					
	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目				
	選択科目(集中講義)				選択科目(集中講義)			

▶ 授業科目一覧

【教科教育(教授—学習)研究プログラム】

- ・ 社会科・地理歴史科指導法の省察と開発
- ・ 特別の教科道徳の授業デザイン論
- ・ 次世代型教育コンテンツの開発Ⅰ・Ⅱ
- ・ 特別活動の理論と実践 他

【学校研究プログラム】

- ・ 学校の安全・安心と危機管理
- ・ グルーパダイナミクスからみた学級経営
- ・ 学校研究の手法と実践
- ・ いじめ・不登校への組織的対応 他

【特別支援教育プログラム】

- ・ 発達障害サポートシステム開発
- ・ 発達障害の医療と支援
- ・ 障害児の心理的理解と支援
- ・ 知的・発達障害指導法 他

実習科目

- 高度化実践実習Ⅰ・Ⅱ
- 重点領域実践実習Ⅰ・Ⅱ
- 開発実践実習Ⅰ・Ⅱ
- 特別支援教育高度化実践実習Ⅰ・Ⅱ
- 特別支援教育重点領域実践実習Ⅰ・Ⅱ
- 特別支援教育開発実践実習Ⅰ・Ⅱ

省察科目

教職課題研究Ⅰ・Ⅱ

選択科目

教科教育(教授—学習)研究プログラム
学校研究プログラム
特別支援教育プログラム

共通科目

5領域

教育課程の編成・実施に関する領域
教科等の実践的な指導方法に関する領域
生徒指導・教育相談に関する領域
学級・学校経営に関する領域
学校教育と教員のあり方に関する領域

【教育課程の編成・実施に関する領域】

- ・ 学校を基盤とするカリキュラム開発
- ・ 特色ある教育課程とそのデザイン
- ・ 特別支援教育とカリキュラム・マネジメント

【教科等の実践的な指導方法に関する領域】

- ・ 教材研究、指導方法、評価に関する実践的課題とその改善
- ・ 情報活用と授業デザインの実践
- ・ 特別支援教育の授業デザイン

【生徒指導・教育相談に関する領域】

- ・ 教育相談の方法と実践
- ・ 学校における生徒指導の実践と課題
- ・ 発達障害児の心理臨床

【学級・学校経営に関する領域】

- ・ 学級経営の実践と課題
- ・ 自律的学校経営の理論と実践
- ・ 特別支援教育と学校経営

【学校教育と教員のあり方に関する領域】

- ・ 学校教育の役割と教師の成長
- ・ 鹿児島における学校教育と教員のあり方
- ・ インクルーシブ教育における教師の専門性

教科教育(教授—学習)研究プログラム

各教科の授業設計や実施、評価に代表される授業デザインの開発および授業研究のテーマと手法といった特定の教科についての指導のあり方を中心とした内容です。

メッセージ



亀田 理央
令和7年度入学

私は、教職を目指す上で、教師として生徒一人一人に向き合う力が十分に身につけていないのではないかと強く感じ、教育に関する知識や指導方法、授業実践の在り方をさらに専門的に学びたいと考えて教職大学院に進学しました。

教科教育研究プログラムでは、講義を通して専門教科の知識を深めるとともに、教科の指導法や授業の在り方について理論的に学ぶことができる点に魅力を感じています。また、学部卒学生と現職教員学生が共に学ぶ環境の中で、

ディスカッションやテーマ学習を通して多様な視点や考えに触れることは、自分自身の考えを深めていく貴重な学びとなっています。さらに、離島の学校や特別支援学校での実習では、これまで経験したことのない新たな学びを得ることができ、生徒と向き合う力を高める機会となりました。

現在、講義や実習、さらに自分自身の研究に意欲的に取り組みながら充実した日々を送ることができています。

学校研究プログラム

本プログラムは2種類の内容から構成されています。第一に学校の組織・経営および校内研修の運営に関する内容です。第二に学習、学力、特別活動、生徒指導に関する内容です。

メッセージ



佐々木 佳菜
(現職教員) 令和7年度修了

「学校組織の一員として、ミドルリーダーとして、私は何かできているのだろうか」と、より視野を広げ、学びを深め、学校組織の一員として学校づくりに参画していきたいという思いから、大学院へ入学しました。大学院では、現職教員学生と学部卒学生の学生が互いに、思いや考えを伝え合い、高め合う、学び合う集団の姿がありました。目的をもって、主体的に、課題解決をしながら学び続ける姿こそ、私が目指していきたい「新たな教師の学びの姿」であると感じます。

各自の探究において、実践的な実習や研修は、実感を伴った視野の広がりや学びの深まりにつながりました。また、大学院の先生方の専門的な視点をもった助言が、自分の考えを見つめ直したり、再構築したりするための手がかりとなりました。「主体的に学び続けること」の価値を再認識した大学院での学びを生かして、教職員と協働的に学び合う学校組織づくりを目指していきたいと思っています。

特別支援教育プログラム

特別支援教育および発達障害に関する知識と指導方法に関する内容です。また、特別支援教育のコーディネーター、特別支援学校や特別支援学級のあり方についても学びます。

メッセージ



西依 裕泰
(現職教員) 令和7年度入学

特別支援学校の教員として13年勤める中で、自分の授業はこのままでよいのかという疑問を抱き、教職大学院で学ぶことを決意しました。

大学院生活の始まりは悩みの連続で、講義での議論を通して自分の知識不足や力の弱さを痛感しました。複式学級や特別支援学級での実習では、これまでの経験では得られなかった視点から授業を捉え直すことになり、特別支援教育プログラムの講義でも、特別支援教育の在り方を一から考え直すことの連続で

した。

私は「教えてもらう」ことを前提にしていたのですが、大学院での学びは自ら課題を見つけ、考え、主体的に学びを深めていくものだと感じました。この気づきは、子どもたちの学びにも通じる重要な視点だと感じています。特別支援学校において「自ら学ぶ」授業づくりの手掛かりを得られたのは、学生同士や大学教員との対話を通して悩み、考え続けた結果であると感じます。「じっくり悩み、考え、学ぶ」経験こそが大学院の大きな魅力です。

鹿児島大学教職大学院の概要

○ 修了年限	2年
○ 修了要件	46単位以上
○ 学位	教職修士（専門職）
○ 入学定員	20名
○ 取得免許	小学校・中学校・高等学校・幼稚園教諭専修免許状、特別支援学校教諭専修免許状（知・肢・病）、養護教諭専修免許状 ※専修免許状の取得には条件があります。
○ 小学校教員免許取得プログラム（長期在学履修）	教職大学院に3年間在籍しながら、小学校教諭の免許状を取得できるプログラムです。小学校教諭の免許取得に必要な学部授業（教育実習を含む）と、修了に必要な大学院の授業を計画的に履修することで、課程を修了することができます。

メッセージ



小学校教員免許取得プログラムを利用して

坂之上 朗一
令和7年度修了

私が小学校教員免許取得プログラムを利用して教職大学院に進学したのは、小学校教員免許を取得することで自分の教育の幅を広げたい、と考えたからです。学部時代の経験を通して、子どもたちの学びをより広い視点から支えられる力を身につけたいという思いが強まりました。

大学院での3年間で私が最も学んだことは、「関わり」の大切さです。先生方や仲間、実習先の先生方との関わりを通して、自分では気づけなかった視点を得て、子ども理解や授業づくりへの考えが深まっていきました。また、小学校教員免許取得プログラムのおかげで、自分のペースを大切にしながら、教育学部の講義や実習にも参加でき、学びを着実に積み重ねることができました。小学校教員免許の取得を目指しながら、新しい可能性に挑戦したい方に、この制度は大きな支えになると思います。

進学説明会

以下の日程でオンラインによる進学説明会を実施します。

第1回：令和8年 5月14日(木) 第2回：令和8年 7月 9日(木)

第3回：令和8年 9月10日(木) 第4回：令和8年11月12日(木)

第5回：令和9年 1月14日(木)

詳しくは教職大学院ホームページをご覧ください。(二次元コード参照)



オープンクラス

鹿児島大学教職大学院では、進学を検討されている方を対象として、授業の見学を随時受け付けています。事前に申し込みが必要です。詳しくは下の問合せ先に御連絡ください。

入試日程等

1 募集要項

学生募集要項は、6月上旬公表予定です。
詳細は教職大学院ホームページでご確認ください。

2 入試日程

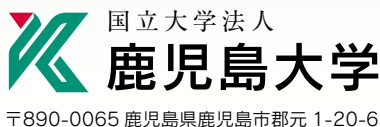
A日程：令和8年10月31日(土) B日程：令和8年12月19日(土)

C日程：令和9年 2月11日(木) 祝日

※A日程、B日程で募集定員を満たした場合は、C日程による入試は行いません。

お問い合わせ

募集要項請求先



〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-20-6

鹿児島大学教育学部教務係

TEL：099-285-7713 FAX：099-285-7735

E-mail：edukyomu@kuas.kagoshima-u.ac.jp

URL：http://www.edu.kagoshima-u.ac.jp/